

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
ドリップファーム1号	硝酸肥料	タキイ種苗	10		20		20		0	生育初期	150	7~8月 毎日	60	15.0	150	7~8月 毎日	60	15.0
ドリップファーム2号	硝酸肥料	タキイ種苗	13		8		25		0	生育中後期	600	9~6月 毎日	300	78.0	500	5/7	250	65.0
フィッシュリユール	魚	自家醗酵液							100	食味	20kg	9~6月 毎日	300					
ニガリ	海水								100	ミネラル	20L	7~6月 月2	24					
黒糖	サトウキビ	自家醗酵液							100	ミネラル	5kg	9~6月 毎日	300					
カルシウム88	貝化石Ca	フロサキシード							100	ミネラル	20L	7~7月 月1	12					
グリーントップ	海水 Mg	馬居化成							100	ミネラル	15kg	8~7月 月2	22					
プロリン	ゼラチン	サンセイ	5		3		2		100	アミノ酸	20L	9~6月 毎日	300					
シイタケパウダー	シイタケ	自家							100	アミノ酸	10g	7~7月 週1	52					
ケルパック	海藻	ロイヤルグスター							100	アミノ酸	300cc	7~7月 2ヶ月1	6					
トウゲン	各種総合酵素	酵素の世界社							100	健康保全	3kg	7~7月 週1	52					
米酢	米酢									殺菌	5L	7~7月 週1	52					

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分で比較して 当地比

化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	削減
慣行使用量		
実績使用量	80	

\*節減対象農薬

節減対象農薬	当地比		削減
	実績回数	地域の慣行防除	
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤	12		
殺菌剤	13		
その他薬剤			
合計	25		

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	アルバリン粒剤	ジノテフラン	アグロカネショウ	アブラムシ類・コナジラミ類		1g/株	定植前	1	1		1g/株	8/3	1	1	1	5
殺虫	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	住友化学	アブラムシ類・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏	3	3	2000倍	100~300L	8/10	1	1	3	4
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・プロプロフェジン	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	100~300L	8/10	1	2	3	3,3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000~5000倍	150~300L	秋春	5	5	3000倍	150~300L	8/10	1	1	5	5
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	クマイ化学工業	アブラムシ類・コナジラミ類	4000倍	100~300L	秋春	3	3	4000倍	100~300L	8/20	1	1	3	3
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・プロプロフェジン	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	100~300L	8/20	1	2	3	3,3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000~5000倍	150~300L	秋春	5	5	3000倍	150~300L	8/20	1	1	5	5
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	クマイ化学工業	アブラムシ類・コナジラミ類	4000倍	100~300L	秋春	3	3	4000倍	100~300L	9/2	1	1	3	3
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・プロプロフェジン	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	100~300L	9/2	1	2	3	3,3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000~5000倍	150~300L	秋春	5	5	3000倍	150~300L	9/2	1	1	5	5
殺虫	コロマイト乳剤	ミルベメクチン	三井化学アグロ	コナジラミ類・トマトサビダニ	100~1500倍	100~300L	秋春	2	0	1500倍	100~300L	9/7	1	0	2	2
殺菌	アフエットフロアブル	ベンチオピラド	三井化学アグロ	うどんこ病・灰色かび病・菌核病・葉かび病	2000倍	100~300L	秋春	3	3	2000倍	100~300L	9/7	1	1	3	3
殺菌	アニキ乳剤	レピメクチン	三井化学アグロ	コナジラミ類・トマトサビダニ	1000~2000倍	100~300L	秋春	3	3	1000倍	100~300L	9/14	1	1	3	3
殺菌	アフエットフロアブル	ベンチオピラド	三井化学アグロ	うどんこ病・灰色かび病・菌核病・葉かび病	2000倍	100~300L	秋春	3	3	2000倍	100~300L	9/14	1	1	3	3
殺菌	カッパーシン水和剤	カスガマイシン・銅	明治製菓	葉かび病・輪紋病・疫病・斑点細菌病・かいよ	1000倍	150~300L	秋春	5	0	1000倍	150~300L	9/29	1	0	5	5,-

備考:

独自の栽培方法であり、一般の栽培には当てはまりません。10aの成分計算は一般とは大きく異なります。肥料に関して：10aの成分計算は一般とは大きく異なります。農薬に関して：病虫害の発生があった場合の登録農薬です。このため、使用しない場合もあります。IPM総合防除方式をとり、殺虫剤を減らしています。防虫網や、ラノーテープ、忌避剤を使用し、又、200台の通風機を使用して、外からの虫の侵入を防いでいます。11月~2、3月期はボトキラー（パルチス菌）をダクト内に散布するのみにとります。

実績は 2018/5/7 現在。

栽培期間通して、化成肥料の化成窒素量 93kg、  
農薬の計画回数 殺虫 35回、殺菌15回 合計50回

**病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）**

使用量/10a

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000～5000倍	150～300L	秋春	5	5	3000倍	150～300L	10/4	1	1	5	5
殺虫	ノーモルト乳剤	テフルベンズロン	日本農薬	ハスモンヨトウ・コナジラミ類	2000倍	100～300L	秋春	2	2	2000倍	100～300L	10/26	1	1	2	2
殺虫	ノーモルト乳剤	テフルベンズロン	日本農薬	ハスモンヨトウ・コナジラミ類	2000倍	100～300L	秋春	2	2	2000倍	100～300L	11/7	1	1	2	2
殺菌	カップパーシン水和剤	カスガマイシン・銅	明治製菓	葉かび病・輪紋病・疫病・斑点細菌病・かいよう病・軟腐病	1000倍	150～300L	秋春	5	5	1000倍	150～300L	11/20	1	0	5	5,-
殺菌	カップパーシン水和剤	カスガマイシン・銅	明治製菓	葉かび病・輪紋病・疫病・斑点細菌病・かいよう病・軟腐病	1000倍	150～300L	秋春	5	5	1000倍	150～300L	12/4	1	0	5	5,-
殺菌	リドミルゴールドMZ	マンゼブ・メタラキシルM	シンジェンタ ジャパン	疫病	1000倍	100～300L	秋春	2	2,5	1000倍	100～300L	12/20	1	2	2	2,5
殺菌	スミレックスくん煙顆粒	プロシミドン	住友化学	灰色かび病		6g /100㎡	秋春	3	3		6g /100㎡	1/13	1	1	3	3
殺菌	トップジンM水和剤	チオファネートメチル	日本曹達	葉かび病・灰色かび病	1500～2000倍	150～300L	秋春	5	5	1500～2000倍	150～300L	3/3	1	1	5	6
殺虫	コロマイト乳剤	ミルベメクチン	三井化学アグロ	コナジラミ類・トマトサビダニ・ハモグリバエ類	1500倍	100～300L	秋春	2	2	1500倍	100～300L	3/23	1	0	2	2
殺菌	アフェットフロアブル	ペンチオピラド	三井化学アグロ	うどんこ病・灰色かび病・菌核病・葉かび病	2000倍	100～300L	秋春	3	3	2000倍	100～300L	3/23	1	1	3	3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000～5000倍	150～300L	秋春	5	5	3000倍	150～300L	4/30	1	1	5	5

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	収穫期	収穫期
2月	収穫期	収穫期
3月	収穫期	収穫期
4月	収穫期	収穫期
5月	収穫期	収穫期
6月	収穫期	
7月	耕起・定植	
8月	生育開花始まり	耕起・定植
9月	収穫期	生育開花始まり
10月	収穫期	収穫期
11月	収穫期	収穫期
12月	収穫期	収穫期

定植開始:	平成29年8月4日
終了:	
収穫開始:	平成29年10月1日
終了:	平成30年6月30日